

おれんじの屋根

施設長より

「入所の支援施設はどうなっていくのだろう？」

3年に1度の障害者総合支援法の令和6年報酬改定では、障害者支援施設は、「障害者の権利に関する条約」に関する一昨年9月の国連の勧告の流れを受け、地域移行が明確に打ち出されました。すでに、令和5年5月には、「障害福祉計画に係る国の基本指針」の令和8年度末までの目標で、施設入所者の、①地域移行者数を4年度末入所者数の6%以上、②入所者数の5%以上削減を挙げています。今回の報酬改定でも、地域移行を推進するための取組が努力義務化、8年度からは義務化（未対応の場合は減算の対象）されました。

短いスパン（期間）ではなく、10年20年といった大きなスパンで見ていったとき、入所の施設はどうなっていくのでしょうか？

平成6年に、神奈川県にある国立特別支援教育総合研究所に1年間、国内留学した際、アメリカの福祉の動向に詳しい講師の話がとても衝撃的でした。30年前で記憶は断片的ですが、アメリカでは、かつては、映画「レインマン」で自閉症の兄（ダスティン・ホフマン）がいたような数千人規模の巨大施設が主流だったが、ノーマライゼーションの潮流の中で、閉鎖性や障がい者への人権侵害の批判にさらされて解体、コミュニティ（地域）に障がい者本人も職員も移行。施設内にあった養護学校も閉鎖されて地域の学校に移ったと。

翌、平成7年に、文部省海外派遣研修で、アメリカ南部のルイジアナ州のニューオリンズ近くのニューイベリア市の小・中学校、高校を視察する機会がありましたが、前年度に聴いたとおり、ルイジアナ州でも施設が解体されて養護学校もなくなり、子どもも教師も地域の学校に移ったとのことでした。

わが国でも、アメリカのように入所の施設が解体される時代が来るのでしょうか？

いろいろな意見があり、欧米のように簡単にはいかないでしょうが、決してあり得ないことではないだろうと思います。現に、国内でも、入所施設の定員を減らして、地域移行を始めた例もあるようです。

一方で、「入所の施設でなければ、守れない人がある」（氷川学園 故西坂千賀子様の平成9年の育成会九州大会熊本大会でのお話）のも事実ですし、入所の施設に対するニーズがあるのも事実です。先日は、NHKで、「受け入れ施設 空きがない”障害者が延べ2万2000人待機というニュースが放送されていました。しょうぶの里にも、現在、定員の倍の60人程度の待機の方がおられます。

流れとしては、もちろん障がいのある方にとってよりよい方向に向かうのですが、その過程でもゴールでも、障がいのある方やその親さん・家族が不安を抱かず、安心できるような議論がなされ、仕組みが整備されることを願っています。今後の国での議論や施策の動向を注視していく必要があると思っています。

※テーマが大きすぎて、中途半端な内容で終わってしまい申し訳ありません。



書き遊ぶ

「贅沢病」

ゆうゆう会会長の瀬上です。

スーパーでお菓子を買いました。値段の割に大きな袋でお得感で買いました。さて、帰宅してハサミで袋を切るとシューッと萎むではありませんか。さらに中のお菓子は一個ずつこれまた袋に包まれており、取り出したら最初に思った半分の大きさのお菓子がやっと現れました。これってほぼ詐欺！

業者も値上げすれば売れなくなるのでやむを得ぬ苦渋の選択でしょうが食べるのを止めるか、

違うものに替えるか、我慢して食べ続けるかの分かれ道に来たようです。

パリオリンピック選手村の食事に批判が集まり、東京オリンピックのほうが良かったとSNSに多くのコメントが寄せられましたが、はっきり言って日本にはなんでもあり過ぎるのです。すぐ何かが高くなったと騒ぐ国民性があります





10月 あれこれ

掲載記事は「All About暮らし」より抜粋

《神無月》(かんなづき)

この月に日本中の八百万の神様が、出雲の国(島根県)に集まり、会議を開くため他の国には神様がなくなってしまうことから「神無月」と呼ばれてきました。神様の集まる出雲の国では「神在月(かみありづき)」と呼ばれています。



《十三夜》2024年は10月15日

十三夜は十五夜に次いで美しい月だといわれており、昔からとても大事にされてきました。十三夜とは旧暦の9月13日のお月見のことで、旧暦8月15日の十五夜のお月に巡ってくる十三夜を指します。十五夜のお月見が中国伝来ののに対し、十三夜は日本で生まれた風習です。栗や豆の収穫祝いでもあるため、別名「栗名月」「豆名月」と呼ばれています。



《世界手洗いの日》10月15日

2008年にユニセフが提唱したことがきっかけで毎年10月15日が「世界手洗いの日」に制定されました。石鹸を使った手洗いは最もお金と手間をかけずに病気を予防できる手段とされており、重要性が強調されています。手洗いの教育を受けることのできない国もあり、石鹸による手洗いができれば年間100万人の子どもが助かるといわれています。



《ハロウィン》10月31日

10月31日のハロウィン(Halloween)とは、11月1日の「諸聖人の日」「万聖節」(All Hallo)の前夜祭(All Hallo Eve)という意味で、紀元前5世紀頃にケルト人が行っていた祭りに由来します。古くケルトでは11月1日に暦が変わるので、10月31日は年の変わり目にあたり、旧い時と新しい時がうねりを起こし、闇と光、あの世とこの世が混ざり合い、先祖や親しい死者たちがこの世に戻ってくると信じられていました。そのため、10月31日は死者のことを思い、あの世から訪れた死者をもてなして供養する日として大切にされていました。それを怠ると霊たちは怒り邪悪なことを起こす、祖霊に便乗して悪い妖精、悪魔、魔女などがやってきて災いをもたらす、などと言われていたそうです。

10%世界手洗いの日
unicef

給食室より

10月 イベントメニュー

- 10日(木) リクエストメニュー
- 11日(金) 誕生会
- 17日(木) 手作りおやつ
- 25日(金) リクエストメニュー



《目に良い食べ物は？》

10月10日は目の愛護デー。目の健康のために良い食べ物を食事に取り入れ、目を大切にしましょう。

- ビタミンA…目の乾燥を防ぎ働きをよくする。(緑黄色野菜、レバー、バター)
- ビタミンB1…目の神経の働きを正常にする。(レバー、豚肉、うなぎ、麦)
- ビタミンC…目の充血を防ぐ。(緑黄色野菜、果物、さつまいも)



管理栄養士 厚地

医務室より

～2024年のインフルエンザ事情～

新型コロナが5類になってからマスクする人が減り、今シーズンもインフルエンザが大流行することが予想されます。医療機関で9月末から10月頭にかけて予防接種が可能となります。11月上旬までに接種することが望ましいといわれています。

予防接種の回数はいずれも2回、13歳以上は1回、またコロナワクチンとの同時接種可能とされています。

《インフルエンザの種類》

| 型名 | 性質 | 症状 | 流行の仕方 |
|----|------------------|----------------|-----------|
| A型 | ヒトに感染する非常に変異しやすい | インフルエンザの典型的な症状 | 大きな流行を起こす |
| B型 | ヒトに感染する変異にくい | インフルエンザの典型的な症状 | あまり流行しない |
| C型 | ヒトに感染する変異にくい | 軽い風邪の症状 | あまり流行しない |
| D型 | 家畜にしか感染しない | | |

《症状や原因の違い》

| | インフルエンザ | 風邪 | コロナ |
|----|---------------------------|-------------------------|------------------------------|
| 発熱 | 38℃以上の高熱のどの痛み、頭痛、倦怠感、筋肉痛等 | 37℃～38℃程度の発熱のどの痛み、鼻汁、咳等 | 37℃以上の発熱、味覚障害、嗅覚障害、味覚障害、食欲不振 |
| 発症 | 突然現れる | ゆるやか | ゆるやかだが急変する場合もある |

《予防方法》

- ・予防接種を受ける。
- ・十分な休息とバランスの取れた栄養摂取によって体の抵抗力を高める。
- ・咳エチケットやマスクの着用で飛沫感染を防ぐ。
- ・手洗いや手指のアルコール消毒で接触感染を防ぐ。

《10月の行事予定》

- ☆ 1日(火) 口腔ケア
- ☆ 3日(木) 訪問歯科
- ☆ 4日(金) ライフ2層アピアメント
- ☆ 7日(月) 職員研修会 訪問リハビリ
- ☆ 8日(火) 吉村さんお話し会 ミールラウンド
- ☆ 10日(木) 訪問歯科
- ☆ 11日(金) 誕生会
- ☆ 13日(日) 親善スポーツ大会(マタンク)
- ☆ 14日(祝日) スポーツの日
- ☆ 15日(火) 口腔ケア
- ☆ 16日(水) 消防署によるAED講習会
- ☆ 17日(木) 訪問歯科(通所)秋まつり
- ☆ 21日(月) 訪問リハビリ
- ☆ 22日(火) ミールラウンド
- ☆ 24日(木) 訪問歯科
- ☆ 28日(月) 職員会議、給食委員会
- ☆ 31日(木) ハロウィンイベント

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

～編集後記～

今年のように9月に入ってからも35℃以上の気温なんて異常です。朝の情報番組で間違いない日本語というのがありました。例えば「失笑」。相手の行動や言動に「あざれた」というニュアンスで使っていますが、本来の意味は「思わず笑い出す」「おかしさのあまり噴き出す」ということ。他にも「破天荒」。常識がないという意味で使われやすいのですが、本来は「今まで誰もできなかったことを成し遂げる」として立派なことをあらわす言葉でした。本来の意味を知らず、コロンで使っていた言葉がまだまだありそうです。日本語の言葉の奥深さを改めて感じたいなと思いました。

～第89号～

令和6年9月25日発行

発行元 しょうぶの里

熊本市西区小島9丁目14-58

TEL (096) 311-4588

